ペプトン緩衝液 pH7 (PH7-F)

For microbiological control only

Peptoned Buffer Solution pH 7.0 (PH7 - F)
微生物の検出および菌数測定の際の菌液希釈用

用途
ペプトン緩衝液pH7は、非無菌製剤における菌の検出や菌数測定の際の菌液希釈用として使用します。
ヨーロッパ、米国、日本の国際調和薬局方に記載されています(1、2、3)。

原理
低濃度ペプトンの使用方法は、薬局方で推奨されています。
リン酸緩衝剤により、pH は 7.0 に保たれます。
本品には、拮抗剤あるいはポリソルベート80のような殺菌剤不活性化剤を添加することができます。

キット構成

調製済み培地		
REF 42609	**ボトル培地**	90mL×6 本

組成(g/L)
理論値
性能を確保するため、若干変更される場合があります:

リン酸カリウム	3.6 g
リン酸水素二ナトリウム 2 水和物	7.2 g
塩化ナトリウム	4.3 g
肉ペプトン(ウシまたはブタ)	1 g
精製水	1 L
pH7.0	

必要な試薬および器材
試薬:
- 増菌培養ブイヨン:モーゼル ブイヨン(品番 42621)、マッコンキー ブイヨン(品番 42622)、トリプケースソイブイヨン(品番 42614)
- 選択寒天培地:マッコンキー寒天培地(品番 43141/43149)、XLD 寒天培地(品番 43563)

器材:
- ふらん器

使用上の注意
- **微生物管理にのみご使用して下さい。**
- **熟練者が使用してください。**
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がいないことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分ご注意の上お取り扱い下さい(接種または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、微生物培地、そして検体を接種した伝染性であるものとして適切にお取り扱いください。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱いください。**安全ガイドライン**:"CLSI/NCCLS-M29-A, *Protection of Laboratory Workers From Occupationally Acquired Infections; Approved Guideline*–Current Revision". **操作留意事項**: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories–CDC/NIH–Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従ってください。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミしている培地は使用しないで下さい。
- 使用前に、開封された形跡がないか確認して下さい。
- 本培地は添付文書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

貯蔵法
有効期限まで 2-25℃で保管して下さい。

検体
試料の調製は、国際調和薬局方に従ってください。

使用法
室温に戻して使用します。
国際調和薬局方に記載された手順を参照してください。

注意:
- ポリソルベート 80 は菌液の調製を容易にする目的で、水に難溶解性のサンプルを溶解するために添加します。
- 製品中の殺菌剤や防腐剤の阻害効果を中和するためには、ポリソルベート 80 やレシチンのような不活性化剤を添加して下さい。あるいは、ペプトン緩衝液 pH7.0(中和剤入り)(Ref. 42623)を使用することもできます。

判定
ご使用の培地の添付文書をご参照下さい。

品質管理
本品は、厳密な品質の要求を満たした仕様になっています。また、各ロット毎に指定の菌株を使った品質管理を行っています。

留意事項
- 様々なサンプルを用いて評価していますが、用途に応じて本製品を再評価して下さい。
- 嫌気性菌の存在が疑われる場合は、サンプルを混合してから 30 分以上放置しないで下さい。
- 不活性化剤を添加すると、一部の微生物の発育が遅くなる場合があります。

廃棄処理
未使用の試薬は、有害化学物質廃棄物の処理手順に従って処分してください。
使用済み試薬および他の汚染廃棄物は全て、感染性もしくは感染の危険のある製品の取扱い方法に従って行ってください。
起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

参考文献
1. European pharmacopoeia EP 5.
2. United Staes Pharmacopoeia USP 29.
3. Japanese Pharmacopeia JP 15.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照

（問い合わせ先）
製品関連
シスメックス株式会社　CS センター
臨床（病院、臨床検査センターなど） TEL: 0120-265-034
産業（企業、保健所など） TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連
シスメックス・ビオメリュー株式会社
TEL: 03-6834-2669（代表）

BIOMÉRIEUX

シスメックス・ビオメリュー株式会社
東京都品川区大崎一丁目 2 番 2 号
大崎セントラルタワー8 階
Tel: 03-6834-2669 / Fax: 03-6834-2667
http://www.biomerieux.co.jp

bioMérieux SA
Chemin de l'Orme
69280 Marcy-l'Etoile - France
RCS LYON 673 620 399
Tel. 33 (0)4 78 87 20 00
Fax 33 (0)4 78 87 20 90
www.biomerieux.com

The logo is a registered and protected trademark of bioMerieux sa or one of its subsidiaries.